

防災・減災に向けた取組について

- 出水時における洪水予測や水防警報をはじめ、ダム・水門などの施設操作、土砂災害や高波災害に対応するため、関係機関も含めた**的確な防災情報の伝達を目的とした総合的な洪水対応演習を毎年、出水期前に実施**しています。
- 今回(R8)の演習における情報伝達では、「**新しい防災気象情報**」を用い、**流域タイムラインを踏まえたシナリオ**に基づいて実施しました。併せて、**WEB会議システムを用いた市町村へのホットラインの確保や合同会議**を開催しました。

■開催日時

令和8年5月20日(水)9:00~17:00

■参加機関

石川県、小松市、白山市、能美市、川北町、野々市市、金沢市、北陸電力(株)、電源開発(株)、IRいしかわ鉄道(株)、金沢地方气象台、金沢河川国道事務所

■演習のポイント

- ・「新しい防災気象情報」による発表
- ・情報伝達先、手段の確認
- ・WEB会議の市町村へのホットライン、合同会議開催
- ・流域タイムライン運用会議の開催
- ・排水機場操作ルールの確認
- ・緊急復旧演習



洪水対応演習の実施状況

- 毎年(H2～)出水期前に、水防技術の研鑽と継承を目的とした「水防工法研修会」を開催しています。
- 研修会では、水防工法に精通した指導者や研修を受けた国交省職員が講師となり、水防関係者や消防団員等の参加者が実際に水防工法を実施、体験できる貴重な機会となっています。

- 日 時：令和8年5月23日(土) 9:30 ~ 12:30
- 場 所：川北町朝日地先 水辺の楽校 西部拠点(手取川右岸2.2km)
- 主 催：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会
 構成機関:石川県、白山市、能美市、小松市、野々市市、加賀市
 川北町、北陸電力(株)、電源開発(株)、IRいしかわ鉄道(株)、中日本
 高速道路(株)、金沢地方气象台、金沢河川国道事務所
- 参加者数：154名
- 内容等：水防工法の実技を中心に防災エキスパート等の技術指導により実施



積み土のう工



木流し工



シート張り工



月の輪工

- 毎年、出水期前に手取川と梯川において、水防活動において特に注意や対策が必要とされる「重要水防箇所」や「水防資材」の点検を関係機関と合同で実施しています。
- 点検では、それぞれの場所でどのような対策が必要となるかや、使用する資材の確認を実施することで、これから迎える出水期に備え、安全・安心の確保に向けた準備を進めています。



重要水防箇所の点検(梯川)



水防資材の点検(手取川)



水防資材の点検(梯川)



水防資材（省力化）の紹介

➤ 自治体職員(小松市の新人職員)を対象に、氾濫時の住民避難情報発信・水防活動を軸とした研修支援を実施しており、地域防災を担う人材育成に貢献しています。

- 日時：令和7年 5月29日(木) 10:00 ~ 11:40
- 場所：小松流域治水出張所
- 内容：① 氾濫による人的被害を防止するための住民への避難情報発信
 ② 氾濫を防止するための水防活動
 ③ 令和4年8月4日出水概要
 ④ 流域治水の取組みと防災対策の強化



新人水防研修タイムスケジュール

令和7年5月29日(木)

小松市		19名		青チーム10名、赤チーム9名	
開始	終了	所要時間	内容	備考	
10:00 ~	10:03	0:03	所長挨拶	3階会議室。全員で実施。	
10:03 ~	10:12	0:09	オリエンテーション	3階会議室。全員で実施。	
10:12 ~	10:18	0:06	移動		
10:18 ~	10:38	0:20	水害対策本部班、前川川'ソフ'操作班 2班に分かれて体験	青チーム：水害対策本部班(15分)、質疑応答(5分) 赤チーム：ポンプ操作班(排水機場説明5分、ポンプ操作体験5分、 ポンプ場見学10分)、質疑応答(5分)	
10:38 ~	10:44	0:06	移動		
10:44 ~	11:04	0:20	水害対策本部班、前川川'ソフ'操作班 2班に分かれて体験	青チーム：ポンプ操作班(排水機場説明5分、ポンプ操作体験5分、 ポンプ場見学10分)、質疑応答(5分) 赤チーム：水害対策本部班(20分)、質疑応答(5分)	
11:04 ~	11:10	0:06	移動		
11:10 ~	11:35	0:25	講話、質疑応答、閉会	3階会議室。全員で実施。	
11:35 ~	11:40	0:05	移動	11:50 バス出発	



研修会の実施状況

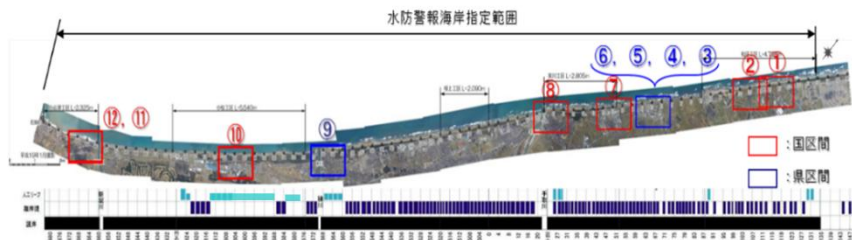
冬季風浪にむけての関係機関との情報共有・演習等

- 風浪が厳しさを増す冬季を前に、関係機関と連携し、**重要水防箇所**の**合同パトロール**と**情報伝達演習(机上)**を実施しています。
- 迅速な水防活動と的確な防災情報伝達に向け、万全の備えを整えています。

■重要水防箇所合同パトロール

- ・日 時: 令和7年10月24日(金)
- ・参加者: 9機関29名
- ・場 所: 加賀市～白山市
- ・内容:
重要水防箇所の関係機関合同の

水防活動の実施が必要な箇所(重要水防箇所)



←消防団員に現地説明



浸水範囲および水防活動の確認



越波した海水の浸水経路を確認

■高波災害時における迅速な防災情報の伝達演習

- ・日 時: 令和7年11月5日(火)
- ・参加者: 14機関約40名
- ・場 所: 各関係機関において机上
- ・演習内容:
関係機関との情報伝達、webを活用した情報共有、緊急復旧工法検討、迅速な広報活動 等



←Web活用

復旧手順を詳細説明→



Webを活用した関係機関との情報共有会議



被災箇所の緊急復旧工法を検討

令和7年度 手取川・梯川流域タイムラインの取組について

- 令和4年8月豪雨において、逃げ遅れ・車中孤立・道路冠水など住民避難の課題が浮き彫りに。
- 早期の段階で避難情報を発令し、住民の迅速な避難行動を促すとともに、自治体・報道機関を含む流域全体の関係機関が一体となって連携することの必要性が高まりました。
- これを受け、令和5年度より流域タイムラインの運用を開始、関係機関において大雨の警報等発令前から危機感を共有、早めの防災行動・逃げ遅れゼロの取組を推進しています。

- ・ 令和7年度は、流域警戒ステージに17回移行（うち、ステージⅡに1回移行、ステージⅢはなし）。また、運用会議を合計3回開催。
- ・ 流域警戒ステージ移行時や運用会議開催の際、メールにて情報を共有。また、昨年度に引き続き移行後に情報提供を実施。

令和7年度 出水状況・警戒ステージ経過一覧 (R7.12末時点)

	日付	流域警戒ステージ	出水状況	備考
①	5/22~24	I		情報提供1回
②	6/12~15	I		6/13運用会議、情報提供2回
③	6/21~24	I		情報提供2回
④	6/24~26	I		情報提供1回
⑤	7/9~11	I		情報提供1回
⑥	8/3~12	I、Ⅱ		8/6運用会議、情報提供6回
⑦	8/30~9/3	I		情報提供3回
⑧	9/3~5	I		9/4運用会議、情報提供1回
⑨	9/6~8	I		情報提供2回
⑩	9/9~14	I		情報提供5回
⑪	9/16~18	I		情報提供1回
⑫	9/19~21	I		情報提供2回
⑬	9/26~29	I		情報提供1回
⑭	10/14~19	I		情報提供5回
⑮	11/3	I		
⑯	11/7~10	I		情報提供1回
⑰	11/24~11/28	I		情報提供2回

※ 6/13、9/4は運用会議を開催したが、予測降雨量が小さかったため、ステージⅡに移行せず

流域警戒ステージの情報提供メール

件名:【手取川・梯川流域タイムライン】流域警戒ステージⅠの情報について

手取川・梯川流域タイムライン関係機関 各位
関係機関 担当者各位
(本メールはBCCで送信しています)

8月10日17時現在の状況を情報提供します。

(連絡事項)
8月10日17時現在、「流域警戒ステージⅠ」に移行中です。
★右川県の加賀では、8月10日から12日にかけて、早期注意情報(警報級の可能性)の大雨【中】が発表されています。このため、現在移行中の流域警戒ステージⅠを「継続」しています。
★加賀では、12日にかけて土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

(気象概況)
前線が掌中から本州を通過して日本の東へのびており、前線上の低気圧が対馬海峽を東に進んでいます。11日にかけて前線上の低気圧が北陸地方へ接近し、12日にかけて前線が本州付近に停滞する見込みです。その後、18日にかけても前線の影響を受けるでしょう。
石川県では、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大雨の状態が不安定となるため、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所があるでしょう。発達した場合は警戒級の大雨となる地域が拡大する可能性があります。
雨雲が停滞したり、予想より発達した場合は警戒級の大雨となる地域が拡大する可能性があります。
これまでの大雨の影響で地盤の緩んでいる所があり、土砂災害の危険度が高まっている所があります。

[雨の予想]
10日に予想される1時間降水量は多い所で、加賀 30ミリ
11日に予想される1時間降水量は多い所で、加賀 40ミリ
10日18時から11日18時までに予想される24時間降水量は多い所で、加賀 100ミリ
その後、11日18時から12日18時までに予想される24時間降水量は多い所で、加賀 120ミリ
その後、12日18時から13日18時までに予想される24時間降水量は多い所で、加賀 60ミリ

★今後、警戒ステージⅡに移行する可能性が高くなっています。また、雨が降り続いており、今後強い雨が降ると急激に河川水位が上昇する可能性があります。引き続き注意をお願いします。

今後の気象警報・注意報、気象情報に留意願います。
関係機関の皆様は、流域警戒ステージⅠに記載されている防災対応を実施してください。

金沢河川国道事務所 流域治水課 TEL:076-264-9910(直)
<<<<<



運用会議の開催状況

令和7年度 第1回 地域メディア連携協議会

住民の理解と自らの行動につなげるための 情報発信についてメディア機関と共有・連携

近年の温暖化による災害の激甚化、頻発化が顕著となっている中で、国としても災害から国民のいのちと暮らしをまもるための防災減災、そして国土強靱化のための5か年加速化計画を進めています。このような対策とあわせて、地域のリスク情報などを関係機関やメディアとの情報共有を通じて、住民等への情報伝達を行い、速やかな行動に結びつけていただくため情報提供と意見交換を行いました。



第1回 地域メディア連携協議会の概要

- 日時 令和7年6月12日(木)10:00~11:30
- 場所 金沢河川国道事務所 2階会議室 (Web会議併用)
- 参加団体 【メディア機関】
NHK金沢放送局、北陸放送、石川テレビ放送、
金沢ケーブル、加賀ケーブル、エフエム石川、
北國新聞社、北陸中日新聞
- 【行政機関】
金沢地方气象台、石川県、
金沢河川国道事務所(事務局)

●議事次第・情報提供

- (1)金沢地方气象台
 - ・最新の3か月予報と洪水予報文の様式変更について
- (2)金沢河川国道事務所
 - ・水害リスクや防災情報の見方について
 - ・手取川梯川流域タイムラインについて
 - ・昨冬の降雪対応について
 - ・大雨による道路の通行止めについて
- (3)その他

○ 意見交換

各機関からの主な意見

- ・災害時の報道には、とにかくスピードを重視したい。このため防災関係機関ともコミュニケーションをとりながら進めていければと思う。
- ・小規模河川での逃げ遅れのケースが多いと感じている。メディアも含め対策を考えていかないとなかなか逃げ遅れは解消されない。
- ・特に高齢者は災害弱者であり、デジタル弱者でもある。出前講座などを通じて、キキクルなどの有効なデジタルツールを活用してもらう工夫があってもよいのではないか。
- ・大雪時の道路CCTVのスクロール配信について、現在の10秒間隔の配信では放送で使いづらい点もあるため、通行止めの区間などに固定するなど検討して欲しい。



TEC-FORCE活動による支援事例（R7.8 金沢競馬場・排水支援）

TEC-FORCEが排水作業を支援しました



- 石川県からの要請を受け、8月7日の大雨により冠水した金沢競馬場の排水作業の支援のため、TEC-FORCEが出動しました(8月8日)。
- TEC-FORCEパートナー(株式会社丸西組)にも活躍いただきました。

▼金沢競馬場入口の状況



▼排水作業の状況



TEC-FORCEが土砂災害夜間監視作業を支援しました



- 石川県からの要請を受け、3月10日に発生した土砂崩れにより崩落した法面の夜間監視作業の支援のため、TEC-FORCEが出動しました(3月10日)。
- TEC-FORCEパートナー(中島建設株式会社、株式会社丸西組)にも活躍いただきました。

▼現地支援の状況



照明車操作状況

▼夜間監視作業の状況



夜間監視状況

